

# 表紙用 アナログ原稿用紙 使い方の基本

※背幅は都度計算しましょう。「[背幅計算](#)」で検索すると表紙用紙と本文用紙、ページ数を入力すれば自動計算できるページがあります。  
不安な場合は印刷所に問い合わせのこと。印刷所に問い合わせの際は[ページ数が確定した状態](#)が望ましいです。

19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

↑天側の仕上がり位置 (トンボに従う)

表紙用アナログ原稿 (左右の仕上がりガイドがない) サンプル

背幅 4mm の場合は、中心のゼロから  
左右に 2mm ずつ (合計 4mm になる) が背幅。

B5 サイズの横幅は 182mm (A5 は 148mm)

仕上がりは左右の実線ではなく、**実際のサイズで切り落とされる。**

背幅 4mm なら、中心から 2mm 取った分、

左右の仕上がりも 2mm 外側にズれる。

よって、実際の仕上がり位置は 184mm のライン、

**塗りたし**はそこから更に 3mm 分外側まで、となる。

※デジタルも仕組みは同じです。

水色の塗りたし部分より内側が仕上がり (実際に冊子になる範囲) です。  
仕上がり位置の外側は切り落とされるので、文字を書かないでください。  
塗りたしよりも外側は何も無くても OK です。

↓地側の仕上がり位置 (トンボに従う)

→塗りたし位置 (背幅分ずれ込んだ所から更に3ミリ外側まで最低限描く)  
←中心からB5横幅分とった位置 (中綴じはページ数に関わらずここが仕上がり位置)  
←背幅分ずれ込んだ位置 (冊子によって異なる)

←塗りたし位置 (背幅分ずれ込んだ所から更に3ミリ外側まで最低限描く)  
→中心からB5横幅分とった位置 (中綴じはページ数に関わらずここが仕上がり位置)  
→背幅分ずれ込んだ位置 (冊子によって異なる)

19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

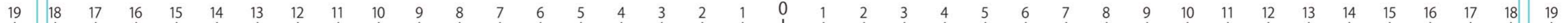
# ダメ原稿サンプル

← 中綴じの場合の仕上がり位置

← 背幅 5mm の時の仕上がり位置

中綴じの場合の仕上がり位置 →

背幅 5mm の時の仕上がり位置 →



© 後輩 / みかんの樹

アナログ原稿のスズメ

アナログの表紙用原稿用紙って微妙に不親切なことが多い。

## 上下は仕上がり位置があるのに、左右にはないのだ。

背幅の計算をして、どこからどこまでが必要なのか自分で把握しておかないと大変なことになる。

※この画像は、こういう感じのあるよね、って後輩が作ったものです。

実際の市販されている原稿とは厳密には異なります。

イメージとしてご参考ください。

後輩が叫びます案件①

## 背幅が倍ある。

背幅計算した所まではよかった。計算もあつてる。

でも中心から左右両方にその背幅取ったら倍のページ数必要だから。

きみの冊子そこまで厚くないから落ち着いてほしい。

後輩が叫びます案件②

## 表紙も裏表紙も小口側の仕上りの外に文字がある。

調整しようがないからホント止めて。

端にあってもいいから仕上がり内に収めて。

アナログの人は大変だなあとか思ってるデジタル派なそのアナタ。

デジタルもそんなに変わらないからね。似たような不備たくさんあるから。

## 「他人事じゃないよ♡」 by 先輩

天地それぞれ文字がギリギリな上、背幅を取りすぎて半端に表紙裏表紙に色が入ってしまっている↑

# 修正版（文字切れしない原稿）

アナログ原稿のスズメ



©後輩/みかんの樹

アナログの表紙用原稿用紙って微妙に不親切なことが多い。

上下は仕上がり位置があるのに、左右にはないのだ。

背幅の計算をして、どこからどこまでが必要なのか？

自分で把握しておかないと大変なことになる。

※この画像は、こういう感じのあるよね、って後輩が作ったものです。

実際の市販されている原稿とは厳密には異なります。

イメージとしてご参考ください。

後輩が叫びます案件①

## 背幅が倍ある。

背幅計算した所まではよかった。計算もあってる。

でも中心から左右両方にその背幅取ったら倍のページ数必要だから。

さみの冊子の背幅そこまで厚くないから落ち着いてほしい。

後輩が叫びます案件②

## 表紙も裏表紙も小口側の仕上りの外に文字がある。

調整しようがないからホント止めて。

端にあってもいいから仕上がり内に納めて。

アナログの人は大変だなあとか思ってるデジタル派なそのアナタ。

デジタルもそんなに変わらないからね。似たような不備たくさんあるから。

「他人事じゃないよ♡」 by 先輩

# 注意するところ!

# 修正版 (文字切れしない原稿)



→実際の仕上がり位置  
(中綴じ、背幅1ミリ程度の場合)

文字は仕上がりの中に収める。

# アナログ原稿のスズメ



# みかんの樹

「背幅」が限定されるデザインはちよつと危険だ。

仕上がりギリギリにある文字は読みにくい。  
また、断裁の際にズレてしまうと  
読めなくなってしまうこともある。  
マージン (余白) を意識しよう。

©後輩/みかんの樹

表紙入稿時にページ数が確定していない場合は

5ミリ以下の背幅の場合は背文字には向かない。  
グの表紙用原稿用紙って微妙に不親切なことが多い。  
は仕上がり位置があるのに、左右にはないのだ。

計算をして、どこからどこまでが必要なのか  
把握しておかないと大変なことになる。  
※画像は、こういう感じのあるよね、って後輩が作ったものです。  
の市販されている原稿とは厳密には異なります。  
ページとしてご参考ください。

① びます案件

## 幅が倍ある。

計算した所まではよかった。計算もあつてる。  
中心から左右両方にその背幅取つたら倍のページ数必要だから。  
の冊子の背幅そこまで厚くないから落ち着いてほしい。

② びます案件

## 紙も裏表紙も小口側の仕上がりの外に文字がある。

調整しようがないからホント止めて。  
端にあつてもいいから仕上がり内に納めて。

アナログの人は大変だなあとか思つてるデジタル派なそののアナタ。  
デジタルもそんなに変わらないからね。似たような不備たくさんあるから。  
「他人事じゃないよ♡」 by 先輩

文字は仕上がりの中に収める。イラストは塗り足しまで描く。

